

2020年4月7日

各 位

会社名	株式会社エコミック
代表者名	代表取締役社長 熊谷 浩二
コード番号	3802 札幌証券取引所アンビシャス
本社所在地	札幌市中央区大通西八丁目1-1 朝日生命札幌大通ビル
問合せ先	取締役管理部長 荒谷 努
電話番号	011-206-1103
(URL)	https://www.ecomic.jp/

新株式発行及び株式売出しに関するお知らせ

当社は、2020年4月7日開催の取締役会において、新株式発行及び当社株式の売出しに関し、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、当社は本日、株式会社東京証券取引所より、当社普通株式の東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）への上場承認をいただいております。詳細につきましては、本日付で公表しております「東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）への上場承認に関するお知らせ」をご参照ください。

記

【本資金調達目的】

当社グループは、経営方針として「お客様への価値あるサービスの提供」を掲げ、顧客企業に対し、給与計算に係る人材、時間等の経営資源をより価値の高い本来業務へ転換していただくことによるコストの削減のほか、個人情報漏洩等の企業リスク回避ニーズを捉え、給与計算アウトソーシングを提供してまいりました。

当社は、2006年4月3日に証券会員制法人札幌証券取引所アンビシャスに上場し、潜在的顧客企業及び顧客企業のニーズは着実に拡大し、給与計算専門アウトソーサーとして、丁寧なサポートを継続し業績拡大に努めてきました。その後、2013年5月には、経営効率の向上を目指し、オフショア拠点として中国子会社の栄光情報技術（青島）有限公司を設立いたしました。

近年に入って、就業人口の減少、高齢化に伴う管理間接部門のコスト削減や事業再構築の手段のほか、マイナンバー制度の開始に伴うアウトソーシングニーズが顕在化してまいりました。また、災害等のリスク回避手段、個人情報漏洩対策、マイナンバー管理に伴うセキュリティ需要なども後押しし、2014年3月期以降は増収・増益を達成してきました。

現在、当社グループの事業の属するアウトソーシング市場は、従継続的に拡大傾向にあり、当社グループの社会的使命を一段と認識しております。札幌市を拠点とする企業であります。顧客は首都圏を中心に全国へと展開していることから、全国での知名度及び信頼度の向上により営業力の強化並びに優秀な人材の確保及びモラルの向上を図り、さらなる発展と社会への貢献を目指すために東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）に申請をし、本日上場承認をいただいております。

今回の調達した資金は、年末調整システムの改修、現行給与計算基幹システムの更新及び新給与計算基幹システムの導入に係る設備投資に充当する予定であります。今後も増加が見込まれる給与計算及び年末調整アウトソーシングニーズに対応することを目的としております。当社グループは、当該取り組みが、当社の更なる成長及び収益拡大に寄与するものと考えております。

また、本資金調達は当社の資金需要を充足するだけでなく、資本の増加による財務基盤の強化が図られることから、当社の持続的な企業価値向上に資するものと考えております。

ご注意：この文書は、当社の新株式発行及び株式売出しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書及び訂正事項分（作成された場合）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

1. 公募による新株式発行（一般募集）

- (1) 募集株式の種類及び数 当社普通株式 240,000株
- (2) 払込金額の決定方法 日本証券業協会の定める有価証券の引受け等に関する規則第25条に規定される方式により、2020年4月15日（水）から2020年4月20日（月）までの間のいずれかの日（以下「発行価格等決定日」という。）に決定する。
- (3) 増加する資本金及び資本準備金の額 増加する資本金の額は、会社計算規則第14条第1項に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とし、計算の結果1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り上げるものとする。また、増加する資本準備金の額は、資本金等増加限度額から増加する資本金の額を減じた額とする。
- (4) 募集方法 一般募集とし、岡三証券株式会社を主幹会社とする引受団（以下「引受人」と総称する。）に全株式を買取引受けさせる。
なお、一般募集における発行価格（募集価格）は、日本証券業協会の定める有価証券の引受け等に関する規則第25条に規定される方式により、発行価格等決定日の証券会員制法人札幌証券取引所における当社普通株式の終値（当日に終値のない場合は、その日に先立つ直近日の終値）に0.90～1.00を乗じた価格（1円未満端数切捨て）を仮条件として、需要状況等を勘案した上で決定する。
- (5) 引受人の対価 引受手数料は支払わず、これに代わるものとして一般募集における発行価格（募集価格）と引受人により当社に払込まれる金額である払込金額との差額の総額を引受人の手取金とする。
- (6) 申込期間 発行価格等決定日の翌営業日から発行価格等決定日の2営業日後の日まで。
- (7) 払込期日 2020年4月27日（月）
- (8) 申込株数単位 100株
- (9) 払込金額、増加する資本金及び資本準備金の額、その他本公募による新株式発行に必要な一切の事項の決定については、当社代表取締役社長 熊谷浩二に一任する。
- (10) 前記各号については、金融商品取引法による届出の効力発生を条件とする。

2. 当社株式の売出し（オーバーアロットメントによる売出し）（後記<ご参考>1. を参照のこと。）

- (1) 売出株式の種類及び数 当社普通株式 30,000株
なお、上記売出株式数は上限を示したものであり、需要状況等により減少し、又は本株式の売出しそのものが全く行われない場合がある。最終の売出株式数は、一般募集の需要状況等を勘案した上で発行価格等決定日に決定される。
- (2) 売出人 岡三証券株式会社
- (3) 売出価格 未定（発行価格等決定日に決定する。なお、売出価格は一般募集における発行価格（募集価格）と同一とする。）
- (4) 売出方法 一般募集の需要状況等を勘案した上で、岡三証券株式会社が当社株主から30,000株を上限として借入れる当社普通株式について売出しを行う。
- (5) 申込期間 一般募集における申込期間と同一とする。
- (6) 受渡期日 2020年4月28日（火）
- (7) 申込株数単位 100株
- (8) 売出価格、その他本株式の売出しに必要な一切の事項の決定については、当社代表取締役社長 熊谷浩二に一任する。

ご注意：この文書は、当社の新株式発行及び株式売出しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書及び訂正事項分（作成された場合）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

(9) 前記各号については、金融商品取引法による届出の効力発生を条件とする。なお、一般募集が中止となる場合、本オーバーアロットメントによる売出しも中止する。

3. 第三者割当による新株式発行（後記<ご参考> 1. を参照のこと。）

- (1) 募集株式の種類及び数 当社普通株式 30,000株
- (2) 払込金額の決定方法 発行価格等決定日に決定する。なお、払込金額は一般募集における払込金額と同一とする。
- (3) 増加する資本金及び資本準備金の額 増加する資本金の額は、会社計算規則第14条第1項に従い算出される資本金等増加限度額の2分の1の金額とし、計算の結果1円未満の端数が生じたときは、その端数を切り上げるものとする。また、増加する資本準備金の額は、資本金等増加限度額から増加する資本金の額を減じた額とする。
- (4) 割当先 岡三証券株式会社
- (5) 申込期間（申込期日） 2020年5月1日（金）
- (6) 払込期日 2020年5月7日（木）
- (7) 申込株数単位 100株
- (8) 上記(5)に記載の申込期間（申込期日）までに申込みのない株式については、発行を打ち切るものとする。
- (9) 払込金額、増加する資本金及び資本準備金の額、その他本第三者割当による新株式発行に必要な一切の事項の決定については、当社代表取締役社長 熊谷浩二に一任する。
- (10) 前記各号については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出している。なお、一般募集が中止となる場合、本第三者割当による新株式発行も中止する。

ご注意： この文書は、当社の新株式発行及び株式売出しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書及び訂正事項分（作成された場合）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

<ご参考>

1. オーバーアロットメントによる売出し等について

前記「2. 当社株式の売出し（オーバーアロットメントによる売出し）」に記載のオーバーアロットメントによる売出しは、前記「1. 公募による新株式発行（一般募集）」に記載の一般募集にあたり、その需要状況等を勘案した上で、一般募集の主幹事会社である岡三証券株式会社が当社株主から30,000株を上限として借入れる当社普通株式の売出し（オーバーアロットメントによる売出し）を行う場合があります。オーバーアロットメントによる売出しの売出株式数は、30,000株を予定しておりますが、当該売出株式数は上限の売出株式数であり、需要状況等により減少し、又はオーバーアロットメントによる売出しそのものが全く行われない場合があります。

なお、オーバーアロットメントによる売出しに関連して、岡三証券株式会社が上記当社株主から借入れた株式（以下「借入れ株式」という。）の返却に必要な株式を取得させるために、当社は2020年4月7日

（火）開催の取締役会において、岡三証券株式会社が割当先とする当社普通株式30,000株の第三者割当増資（以下「本件第三者割当増資」という。）を、2020年5月7日（木）を払込期日として行うことを決議しております。

また、岡三証券株式会社は、一般募集及びオーバーアロットメントによる売出しの申込期間の終了する日の翌日から2020年4月28日（火）までの間（以下「シンジケートカバー取引期間」という。）、借入れ株式の返却を目的として、証券会員制法人札幌証券取引所又は株式会社東京証券取引所においてオーバーアロットメントによる売出しに係る株式数を上限とする当社普通株式の買付け（以下「シンジケートカバー取引」という。）を行う場合があります。岡三証券株式会社がシンジケートカバー取引により取得した全ての当社普通株式は、借入れ株式の返却に充当されます。なお、シンジケートカバー取引期間内において、岡三証券株式会社の判断でシンジケートカバー取引を全く行わず、又はオーバーアロットメントによる売出しに係る株式数に至らない株式数でシンジケートカバー取引を終了させる場合があります。

更に、岡三証券株式会社は、一般募集及びオーバーアロットメントによる売出しに伴って安定操作取引を行うことがあり、かかる安定操作取引により取得した当社普通株式の全部又は一部を借入れ株式の返却に充当することがあります。

オーバーアロットメントによる売出しに係る株式数から、安定操作取引及びシンジケートカバー取引によって取得し借入れ株式の返却に充当する株式数を減じた株式数（以下「取得予定株式数」という。）について、岡三証券株式会社は本件第三者割当増資に係る割当てに応じ、当社普通株式を取得する予定であります。そのため本件第三者割当増資における発行株式数の全部又は一部につき申込みが行われず、その結果、失権により本件第三者割当増資における最終的な発行株式数とその限度で減少し、又は発行そのものが全く行われない場合があります。

岡三証券株式会社が本件第三者割当増資に係る割当てに応じる場合には、岡三証券株式会社はオーバーアロットメントによる売出しにより得た資金をもとに取得予定株式数に対する払込みを行います。

なお、オーバーアロットメントによる売出しが行われるか否か及びオーバーアロットメントによる売出しが行われる場合の売出株式数については発行価格等決定日に決定されます。オーバーアロットメントによる売出しが行われない場合は、岡三証券株式会社による上記当社株主からの当社普通株式の借入れは行われません。したがって岡三証券株式会社は本件第三者割当増資に係る割当てに応じず、申込みを行わないため、失権により本件第三者割当増資における新株式発行は全く行われません。また、証券会員制法人札幌証券取引所又は株式会社東京証券取引所におけるシンジケートカバー取引も行われません。

2. 今回の一般募集及び本件第三者割当増資による発行済株式総数の推移

現在の発行済株式総数	1,605,600株	(2020年4月7日現在)
一般募集による増加株式数	240,000株	
一般募集後の発行済株式総数	1,845,600株	
本件第三者割当増資による増加株式数	30,000株	(注)
本件第三者割当増資後の発行済株式総数	1,875,600株	(注)

(注) 前記「3. 第三者割当による新株式発行」の発行新株式数の全株に対し岡三証券株式会社から申込みがあり、発行がなされた場合の数字であります。

ご注意：この文書は、当社の新株式発行及び株式売出しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書及び訂正事項分（作成された場合）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

3. 調達資金の使途

(1) 今回の調達資金の使途

今回の一般募集及び本件第三者割当増資に係る手取概算額上限181,679,200円について、設備投資資金に充当し、残額が生じた場合には運転資金に充当する予定であります。具体的には、2020年9月を目途に70,000,000円を年末調整システムの改修に係る資金に、2021年5月を目途に60,000,000円を現行給与計算基幹システムの更新に係る資金に、2022年3月末までに51,679,200円を新給与計算基幹システムの導入に係る資金に充当する予定です。

なお、設備投資計画の内容については、2020年4月7日現在、以下のとおりとなっております。

① 重要な設備の新設

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定金額		資金調達方法	着手及び完了予定 年月日		完成後の 増加 能力
				総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了	
㈱エコミック	本社 (札幌市中央区)	ペイロール 事業	給与計算システム更新	60,000	—	増資資金及び自己資金 (注) 2.	2021.01	2021.05	(注) 3.
㈱エコミック	本社 (札幌市中央区)	ペイロール 事業	給与計算システム	100,000	—	増資資金及び自己資金 (注) 2.	2021.04	2022.03	(注) 3.

(注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

2. 増資資金で不足が生じた場合は、自己資金をもって充当する予定です。

3. 完成後の増加能力については、合理的な算出が困難なため記載を省略しております。

② 重要な改修

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定金額		資金調達方法	着手及び完了予定 年月日		完成後の 増加 能力
				総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了	
㈱エコミック	本社 (札幌市中央区)	ペイロール 事業	年末調整システム改修	70,000	—	増資資金	2020.04	2020.09	(注) 2.

(注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

2. 完成後の増加能力については、合理的な算出が困難なため記載を省略しております。

(2) 前回調達資金の使途の変更

該当事項はありません。

(3) 業績に与える影響

今回の調達資金を上記(1)に記載の使途に充当することにより、当社グループの中長期的な成長に資するものと考えます。

4. 株主への利益配分等

(1) 利益配分に関する基本方針

当社は、利益還元を経営上の重要な課題と考えておりますが、将来の事業拡大に備え、内部留保による企業体質の強化を図りながら、業績に応じて株主に対し安定した配当を維持していくことを利益配分に関する基本方針としております。

(2) 配当決定にあたっての考え方

当社の剰余金の配当は、年1回の期末配当を行うこととしており、配当の決定機関は株主総会であります。なお、当社は、「取締役会決議により、毎年9月30日を基準日として、中間配当を行うことができる。」旨を定款に定めております。

(3) 内部留保資金の使途

内部留保資金につきましては、今後の事業拡大を図るための有効な投資に充当していきたいと考えております。

ご注意：この文書は、当社の新株式発行及び株式売出しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書及び訂正事項分(作成された場合)をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

(4) 過去3決算期間の配当状況等

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
1株当たり連結当期純利益	44.56円	34.60円	47.86円
1株当たり年間配当金 (うち1株当たり中間配当金)	16.00円 (-)	8.00円 (-)	8.00円 (-)
実績連結配当性向	18.0%	23.1%	16.7%
自己資本連結当期純利益率	14.6%	10.2%	12.9%
連結純資産配当率	2.6%	2.4%	2.2%

- (注) 1. 当社は、2017年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。このため、2017年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり連結当期純利益を算定しております。なお、1株当たり年間配当金については、実際の配当金の額を記載しております。
2. 実績連結配当性向は、1株当たり年間配当金を1株当たり連結当期純利益で除した数値であります。なお、2017年3月期の1株当たり年間配当金については、2017年3月期の期首に、上記(注)1.に記載の株式分割が行われたものと仮定して算定しております。
3. 自己資本連結当期純利益率は、親会社株主に帰属する当期純利益を貸借対照表の自己資本(純資産合計から新株予約権を控除した期首と期末の平均)で除した数値であります。
4. 連結純資産配当率は、1株当たり年間配当金を1株当たり連結純資産(期首と期末の平均)で除した数値であります。なお、2017年3月期の1株当たり年間配当金及び1株当たり連結純資産については、2017年3月期の期首に、上記(注)1.に記載の株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

5. その他

(1) 配分先の指定

該当事項はありません。

(2) 潜在株式による希薄化情報

当社は、会社法に基づき、ストックオプションとしての新株予約権を発行しており、その内容は以下のとおりであります。なお、今回の一般募集及び本件第三者割当増資後の当社普通株式の発行済株式総数(1,875,600株)に対する下記の交付株式残数の比率は0.8%となる見込みであります。

ストックオプションの付与状況(2020年4月7日現在)

発行決議日	新株式発行 予定残数	行使時の 払込金額	資本組入額	権利行使期間
2014年5月16日	14,200株	331円	166円	自 2016年7月1日 至 2021年6月30日

ご注意：この文書は、当社の新株式発行及び株式売出しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書及び訂正事項分(作成された場合)をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

(3) 過去3年間に行われたエクイティ・ファイナンスの状況等

① エクイティ・ファイナンスの状況

該当事項はありません。

② 過去3決算期間及び直前の株価等の推移

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
始 値	810 円	865 円	750円	721円
高 値	1,350 円	925 円	1,034円	765円
安 値	730 円	681 円	602円	702円
終 値	866 円	759 円	766円	765円
株 価 収 益 率	25.0 倍	15.9 倍	—	—

- (注) 1. 株価は、証券会員制法人札幌証券取引所におけるものであります。
2. 2021年3月期の株価については、2020年4月6日(月)現在で表示しております。
3. 株価収益率は、決算期末の株価(終値)を当該決算期の1株当たり連結当期純利益で除した数値です。なお、2020年3月期に関しては決算が確定していないため、2021年3月期に関しては期中であるため記載しておりません。

③ 過去5年間に行われた第三者割当増資等における割当先の保有方針の変更等

該当事項はありません。

(4) ロックアップについて

一般募集に関連して、当社株主であるキャリアバンク株式会社、佐藤良雄及び熊谷浩二は岡三証券株式会社に対し、発行価格等決定日に始まり、一般募集の受渡期日から起算して180日目の日に終了する期間(以下「ロックアップ期間」という。)中、岡三証券株式会社の事前の書面による同意なしには、原則として当社株式の売却等を行わない旨合意しております。

また、当社は岡三証券株式会社に対し、ロックアップ期間中、岡三証券株式会社の事前の書面による同意なしには、当社株式の発行、当社株式に転換もしくは交換される有価証券の発行又は当社株式を取得もしくは受領する権利を付与された有価証券の発行等(ただし、一般募集、本件第三者割当増資、株式分割及びストックオプションの行使による新株式発行等を除く。)を行わない旨合意しております。

上記のいずれの場合においても、岡三証券株式会社はロックアップ期間中であってもその裁量で当該合意の内容の一部もしくは全部につき解除できる権限を有しております。

以 上

ご注意：この文書は、当社の新株式発行及び株式売出しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書及び訂正事項分(作成された場合)をご覧ください。投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。